

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	メゾン・ピロング新築工事	階数	地上5F地下1F
建設地	京都府京都市伏見区深草西浦町2	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域 準防火地域	平均居住人員	101 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 0.0	評価の実施日	2013年9月1日
敷地面積	1,506 m ²	作成者	中川勝智
建築面積	845 m ²	確認日	2013年9月1日
延床面積	4,200 m ²	確認者	岡田光弘

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.8

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.5

3 設計上の配慮事項		
総合	住宅地に建つワンルームマンションであり、住環境に配慮した、配置計画及び高さを抑えた計画とした。	
その他	0	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
使用材料にF☆☆☆☆の材料を積極的に採用し、24時間換気システムを採用している。	可能か限り性能を高めるよう努力しました。	緑地を可能な限り設けるよう配慮しました。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
エネルギーの使用の合理化に関する法律の基準を満たすよう努力しました。	環境負荷の少なくなるよう可能な限り配慮しました。	適切な駐車・駐輪台数を確保、周辺環境に影響の少ない配置計画になるよう配慮しました。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい